

草笛や山河を友に鄙暮し

(伊万里市) 萩原 豊彦

風鈴が昭和の風を連れて来る

(日立市) 奥井 能哉

飛びまはれ戦なき空秋あかね

(所沢市) 岩永 孝幸

詠みつづけ詠みつくせざる敗戦忌

(合志市) 坂田美代子

開戦日の来ぬこと祈る終戦日

(岡山市) 内田 一正

法師蟬ひねもす鳴きて鳴き足らず

(高知市) 山下健太郎

ネパールの人とバス待つ炎天下

(丸亀市) 布戸 道江

また一つみな歳とりて敗戦忌

(焼津市) 増田謙一郎

老鷺に永遠の別れを告げらるる

(宮城県涌谷町) 菅原たかし

早苗田や風にひかりの広がり

(横浜市) 中丸 茂之

【評】第1句。質素で健やかな暮らし振り、「山河を友に」が大らかで好い。第2句。風鈴の音色は涼やかで懐古的。正に「昭和の風」を連れて来る感じ。第3句。群れをなして飛び回る赤とんぼ、これぞ平和の証、思うぞんぶん飛びまわれ！

私とふ旧き友人涼新た

(秩父市) 浅賀信太郎

☆アンドロイド果たして上手く踊りけり

(川越市) 渡邊 隆

ただ浮かぶ生物となる夏の海

(高松市) 藤原貴美子

儼防ぐ塩の一振り糠の吸ふ

(いわき市) 小野 康平

大夕立秘密基地の子総退却

(東京都江東区) 吉田 健

夏帯の移八子が見ゆる川瀬かな

(さいたま市) 齋藤 正美

今年また洗ひ晒しの夏帽子

(今治市) 横田青天子

秋来たりピアニッシモに秋来たり

(神奈川県湯河原町) 中西 恵子

雲の峰絵を描く眼が見上げてる

(笠岡市) 高田 晴之

夏座敷にき父母想い腕枕

(筑紫野市) 二宮 正博

【評】浅賀さん。自分自身との良い関係。旧と新の対比も面白い。渡邊さん。中国のロボットのダンスは映像でさまざま見られる。盆踊りをさせたらそれは上手だろう。藤原さん。浮き輪でぶかぶかと。〈ただ浮かぶ生物〉に無上の開放感あり。